

病床の機能分化・連携を中心とした**地域医療構想をバージョンアップ**し、**85歳以上の高齢者**の増加や人口減少がさらに進む**2040年頃**、さらにその先も見据え、全ての地域・全ての世代の患者が適切な医療を受けられる体制を構築できるよう、**入院医療だけでなく、外来医療・在宅医療、介護との連携**等を含む、**医療提供体制全体の新たな地域医療構想**を策定する。

現行の地域医療構想

病床の機能分化・連携

新たな地域医療構想

入院医療だけでなく、外来・在宅医療、介護との連携等を含む、**医療提供体制全体の課題解決を図るための地域医療構想へ**

地域の患者・要介護者を支えられる地域全体を俯瞰した構想

85歳以上の高齢者の増加に伴う**高齢者救急**や**在宅医療**等の医療・介護需要の増大等、2040年頃を見据えた課題に対応するため、入院に限らず**医療提供体制全体**を対象とした地域医療構想を策定する

今後の連携・再編・集約化をイメージできる医療機関機能に着目した医療提供体制の構築

病床機能だけでなく、急性期医療の提供、**高齢者救急**の受け皿、**在宅医療**提供の拠点等、**地域で求められる医療機関の役割**も踏まえ医療提供体制を構築する。

限られたマンパワーにおけるより効率的な医療提供の実現

医療DXや働き方改革の取組、地域の医療・介護の連携強化等を通じて、**生産性を向上**させ、**持続可能な医療提供体制モデル**を確立する。

目指すべき医療提供体制の基本的な考え方（案）【抜粋】

【資料1の内容を演者が抜粋・編集】

増加する**高齢者救急**

- **軽症・中等症を中心とした高齢者の救急の受入体制を強化**
- ADLの低下を防ぐため、**入院早期から必要なリハビリ**を適切に提供し、**早期に生活の場に戻る**ことを目指す
- **医療DX**の推進等により、**日頃から在宅や高齢者施設等と地域の医療機関の連携**、かかりつけ医機能の発揮等を通じ、**救急搬送や状態悪化の減少**等が図られるよう、在宅や高齢者施設等を含む**対応力の強化**を目指す

増加する**在宅医療需要**

- 必要に応じて**現行の構想区域よりも小さい単位**で、地域の連携による**24時間の在宅医療**の提供体制を構築
- **オンライン診療**の積極的な活用、介護との連携等、**効率的かつ効果的な在宅医療**の体制を強化
- **外来医療**においても、**時間外対応**や**在宅医療**等の**かかりつけ医機能**を発揮して必要な医療提供を行う体制を目指す

医療の質やマンパワーの確保

- **手術等の労働集約的な治療が減少し、急性期病床の稼働率の低下**による**医療機関の経営への影響**が見込まれる中、必要に応じて**現行の構想区域を越えて**、一定の症例や医師を**集約**
- 医師の修練や医療従事者の働き方改革を推進しつつ、**高度医療・救急を提供する体制**を構築

必要な医療機能の維持

- **地域で不可欠な医療機能**（日常診療や初期救急）について、**拠点となる医療機関からの医師の派遣、巡回診療、ICT等**を活用し、**生産性の向上**を図り、**機能維持**を目指す

これまでの地域医療構想では、**病床数に着目した協議**になって医療機関の**役割分担・連携の推進**に**つながりにくい**、病床機能報告において必ずしも**客観的でない報告がなされる**、**必要病床数と基準病床数**の関係性が**わかりにくい**等の課題があった。



新たな地域医療構想においては、以下の3つの観点に基づき、**病床機能・医療機関機能の整理**を行い、**医療提供体制を構築**していく。

病床区分毎の必要量

基本的に診療実績データをもとに、病床区分毎に2040年における地域の**病床の必要量**を推計。**将来の病床の必要量と基準病床数との関係を整理**し、位置づけを明確化。

医療機関機能の明確化

地域での医療提供体制を検討・議論するにあたり、**連携・再編・集約化に向けて**、地域で求められる役割を担う**医療機関機能**を新たに地域医療構想に位置づける。

医療機関の報告等

地域の状況・取組進捗等を把握し、地域で協議を行って取組を推進するとともに、国民・患者に共有することを目的に、**病床機能や医療機関機能を報告**する。その際、診療報酬における届出等に応じた**客観性を有する報告**とし、**一定の医療機関の役割**を明確にする仕組みを創設。

2040年に求められる医療機関機能（イメージ）【資料1の内容を演者が編集統合】

高齢者救急の受け皿となり、地域への復帰を目指す機能

かかりつけ医等と連携し、増大する高齢者救急の受け皿となる機能

- 救急搬送を受けるだけでなく、入院早期からのリハビリ等の離床のための介入を行う
- 必要に応じて専門病院等と協力・連携
- 退院調整を行うなどにより早期退院につながり、他施設とも連携しながら通所や訪問でのリハビリを継続できるような体制

在宅医療を提供し、地域の生活を支える機能

地域での在宅医療を実施し、緊急時には患者の受け入れも行う機能

- 療養病床、在宅医療や介護施設等とあわせて構築
- 適切な在宅医療圏域を設定、より実効性のある体制を整備
- ICT活用による効率化、在宅医療機関の参入促進や連携、訪問看護事業所の機能強化等による供給力増強が重要
- 小規模地域における集住等も含めた体制構築

救急医療等の急性期の医療を広く提供する機能

高度な医療や広く救急への対応を行う機能（必要に応じて圏域を拡大して対応）

- 持続可能な医療従事者の働き方や医療の質も確保するため、搬送体制の強化等に取り組む
- 一定の症例数を集約して対応する地域の拠点として対応できる医療機関が必要

地域ごとに求められる医療提供機能